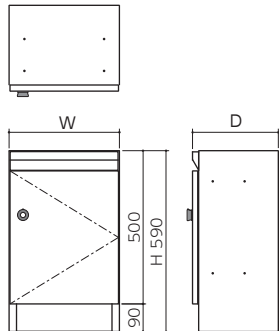


# 取付・取扱説明書

## クリーンBOX・FX-C

### ■前入前出用

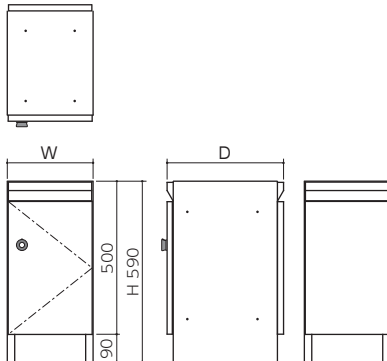


付 属 品			
①	キャップ	4	
②	アンカープラグ	4	
③	木ネジ・平座金	4セット	
⑤	ナイロンリベット	10	

型 式	W	H	D
FX-CF928-HL	280	590	412
FX-CF936-HL	360		332

### ■前入後出用

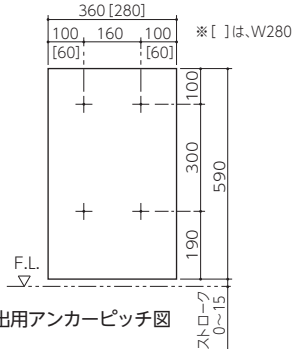
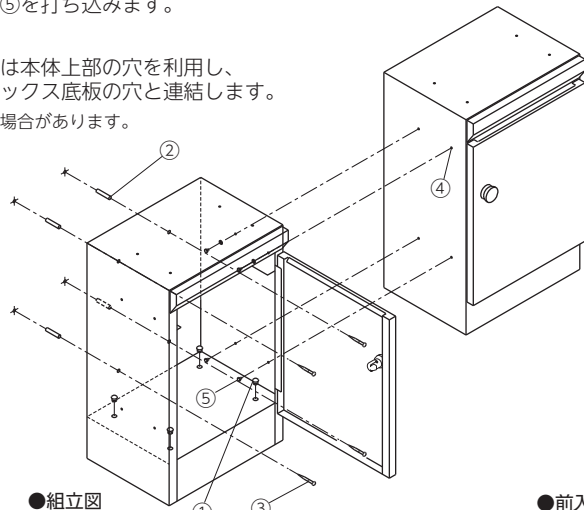
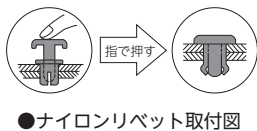
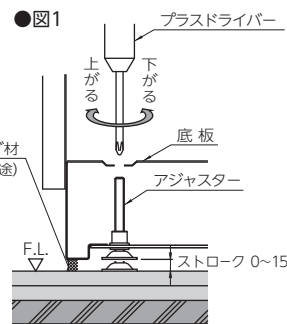


付 属 品			
①	キャップ	4	
②	ナイロンリベット	4	

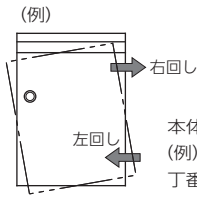
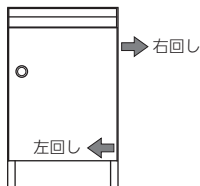
型 式	W	H	D
FX-CB49-HL	280	590	400
FX-CB63-HL	300		430
FX-CB928-HL	280		430
FX-CB936-HL	360		350

- ※1) 本体を設置場所に並べます。
  - ※2) 本体底版にアジャスター調整孔がありますので、プラスドライバーを使い水平をだします。水平が出ましたらキャップ①を調整孔に入れてください。(図1)
  - 3) アンカーピッチ図にしたがいアンカープラグ②を壁に打ち込みます。(組立図参照)
  - 4) 扉を開け、本体の内側から木ネジ③で本体を全て仮止めします。
  - 5) 4) の作業を繰り返し、本体仮止めを終わらせます。
  - ※6) 左右に隣接する穴④にナイロンリベット⑤を打ち込みます。(ナイロンリベット取付図参照)
  - ※7) 上部にメールボックスを積み重ねる場合は本体上部の穴を利用し、ナイロンリベット⑤を使用してメールボックス底版の穴と連結します。
  - ▲ 組み合わせによって一部の穴しか利用できない場合があります。
  - 8) 6)、7)の作業が終了した後、木ネジ③を強く締めつけます。
  - ※9) 床仕上面と本体の隙間をコーキング材(別途)で埋めてください。
- ※印は前入後出用の手順です。

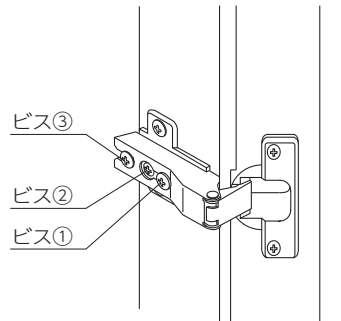


### ■スライド丁番での扉の調整方法

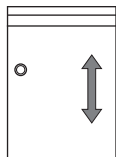
- 左右方向の調整  
ビス①を右に回すと扉は右に、左に回すと左に調整できます。



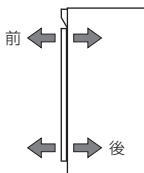
本体設置後、扉の傾きを直す時に有効です。  
(例)の場合は上の丁番のビス①を右に、下の丁番ビスを左に回すと水平が保てます。



- 上下方向の調整  
ビス②をゆるめると上下方向の調整ができます。位置が決まったらビスを締めてください。



- 前後方向の調整  
ビス③をゆるめると、出入り方向の調整ができます。位置が決まったらビスを締めてください。  
注) 扉を片手で支えて調整してください。



- ビス① 扉の左右方向の調整
- ビス② 扉の上下方向の調整
- ビス③ 扉の出入り方向の調整

※ 設置終了後、本書を管理責任者の方に必ずお渡しください。

## 取付けについて

### ●取り出しのスペースを十分にとってください

正面から扉の開閉操作が十分に行なえる場所へ設置してください。側面や片手でしか操作できない場所には設置しないでください。扉に挟まれたり、擦過傷を負うなど危険です。

### ●床に据え付けてください

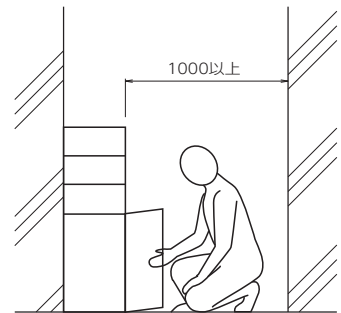
床据え付けタイプです。必ず床面に設置してください。本製品同士を積み重ねて設置しないでください。

### ●床据え付け以外の方法で取り付けしないでください

製品の裏面が露出する取り付け(ポールや棚への取り付け等)をすると裏板でケガをする恐れがあります。また、取り付け強度も不足し、危険です。

### ●本製品は屋内仕様です

常に外気に触れる場所に放置しないでください。



※板金製のため保護用手袋を着用して、作業してください。

※内・外装工事がある場合は製品に養生を施してください。

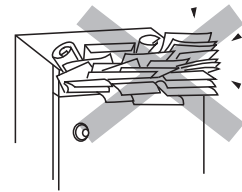
製品の据え付け後、内・外装工事を行う場合は製品の養生を必ず行ってください。工事によるチリ・ホコリなどが錠前に影響を与え、作動異常をおこしたり、ステンレスに付着したままにしておくと、もらいサビをおこす場合もあります。

※本体に「ねじれ」が生じると扉や錠前の事故の原因となりますので注意して取り付けてください。

## 取扱いについて

### ●定期的には不要チラシをお取り出しください

不要チラシがたまり、つめ込みすぎると錠が開かなくなったり、作動異常の原因となります。ためこみすぎないように定期的にお取り出しください。



### ●定期的なお手入れが必要です

常に清浄を保つよう、定期的なお手入れが必要です。柔らかい布でから拭きしてください。

汚れのひどい場合は中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。

その後、から拭きして水分を完全に除去してください。ベンジン、シンナー、みがき粉、タワシなどを使って清掃することはお避けください。

変色、キズ、塗装ハクリの原因になります。



注意  
製品の細部までお手入れされる場合は、板金製のため手を切る恐れがありますので、必ずゴム手袋などで手を保護してください。

### ●ゴミ袋の取り付け

落下防止金具を本体にセットし、袋掛けにゴミ袋(推奨45ℓ)を内側から巻付けて本体にセットします。ゴミ袋を取り外す際、取り外しにくい場合は落下防止金具を外してから取り出ししてください。

